

中・四国から考える ミャンマーの人災と天災 - 支援と人材交流の視点から -

2025年3月28日にミャンマー中部で発生した巨大地震は、数千人の命を奪い、4年以上軍政下に置かれてきた人びとにさらなる困難をつきつけました。本セミナーでは、ミャンマー研究者、支援に従事するNGO職員、人材受入に携わる実務家の方々から同国の被災状況や政治情勢、日本の中・四国地方との繋がりについてお話いただき、我々ひとり一人がミャンマーとどのように向き合っていけるのか考えます。



2025年5月18日(日)

14:00 - 16:00

愛媛大学・城北キャンパス
総合教育棟1・大講義室(4F)

事前予約不要／参加費300円

参加費はNGO・ピースウィンズジャパンが実施するミャンマー支援へ全額寄付いたします

プログラム

13:30 開場

14:00 開会の挨拶・趣旨説明
(藤村瞳・愛媛大学法文学部講師)

14:05 「2021年軍事クーデター後のミャンマー：苦難の中で国家の根源的創り直しを目指す人々」
(根本敬・上智大学名誉教授)

14:25 「在日ミャンマー人による避難民と被災者への支援活動」
(ナンミャケーカイン・京都精華大学特任准教授)

14:50 「愛媛県内の外国人介護人材受入の現状と支援」
(小西正一・愛媛県社会福祉協議会福祉人材部人材研修課専門員)

15:10 「支援と人材交流がつなぐ日本の地方とミャンマー：島根からの取り組み」
(束村康文・コミュニティパートナーズ 理事・事務局長)

15:40-16:00 Q&Aセッション

ピースウィンズジャパン・空飛ぶ搜索医療団「ARROWS」プロジェクトより、被災地にて緊急支援に従事された戸田はるか氏のご登壇も決定！